



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月12日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東
 コード番号 4301 URL http://www.amuse.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 畠中 達郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 宮腰 俊男 TEL 03-5457-3302
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	40,516	35.9	6,272	88.0	6,355	79.3	4,078	83.1
27年3月期第3四半期	29,806	14.0	3,336	22.1	3,544	22.6	2,227	32.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 4,135百万円 (71.4%) 27年3月期第3四半期 2,412百万円 (34.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	472.55	—
27年3月期第3四半期	258.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	36,272	24,848	63.0
27年3月期	29,572	21,174	65.0

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 22,864百万円 27年3月期 19,236百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	40.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

28年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 特別配当 20円00銭

※平成27年5月14日に公表いたしました28年3月期期末配当金(予想)を修正しております。なお、当該予想値の修正に関する事項は、本日付(平成28年2月12日)で同時に公表いたしました「期末配当予想の修正及び株式分割並びに株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,500	18.6	5,600	42.7	5,640	38.7	3,650	36.6	422.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	9,311,760株	27年3月期	9,311,760株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	681,240株	27年3月期	680,249株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	8,630,845株	27年3月期3Q	8,632,596株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(当第3四半期連結累計期間の経営成績)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	増減	増減率 (%)
営業収入	29,806	40,516	10,710	35.9
営業利益	3,336	6,272	2,935	88.0
経常利益	3,544	6,355	2,810	79.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,227	4,078	1,850	83.1

【経済状況】

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、政府、日銀による継続した各種政策効果もあり、企業収益の改善や設備投資の持ち直しに加え、雇用や所得環境も改善傾向が続くなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、中国経済の減速懸念や中東での政情不安など、依然景気を下押しするリスクも多く留意すべき状況が続いております。

【当社グループの事業概況】

当社グループの経営成績は営業収入405億1千6百万円（前年同四半期比35.9%増）、営業利益62億7千2百万円（前年同四半期比88.0%増）、経常利益63億5千5百万円（前年同四半期比79.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益40億7千8百万円（前年同四半期比83.1%増）となり、大型コンサートの実施により会場やオンラインショップで販売するグッズ販売収入も含め、音楽パッケージ販売、印税収入（新譜）などが好調に推移し、増収となり大幅な増益となりました。

<営業収入>

- ・ 当社アーティストによるイベント収入（大型コンサート）が増加
- ・ 商品売上収入（コンサートグッズ、音楽パッケージ）が増加
- ・ 印税収入（新譜）が増加

上記要因などにより増収となりました。

<営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益>

増収要因により大幅な増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、新たな事業を開始したことにより、報告セグメントの区分について、従来の「アーティストマネージメント事業」「メディアビジュアル事業」「コンテンツ事業」の3区分より、新たに「プレイスマネージメント事業」を加え、4区分に変更いたしました。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネージメント事業	23,877	34,631	10,754	45.0
メディアビジュアル事業	4,019	1,913	△2,106	△52.4
コンテンツ事業	1,817	1,813	△3	△0.2
プレイスマネージメント事業	92	2,157	2,065	—
合計	29,806	40,516	10,710	35.9

(セグメント利益又は損失(△))

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	3,057	6,338	3,280	107.3
メディアビジュアル事業	275	140	△135	△49.0
コンテンツ事業	624	705	80	12.9
プレイスマネジメント事業	2	△244	△247	—
調整額	△623	△666	△43	—
合計	3,336	6,272	2,935	88.0

[アーティストマネジメント事業]

営業収入346億3千1百万円(前年同四半期比45.0%増)、セグメント利益63億3千8百万円(前年同四半期比107.3%増)となり、増収、大幅増益となりました。

[主な事業]

- ・ イベント収入: <コンサート>
 - サザンオールスターズ(4-8月)、ONE OK ROCK(5-9月)、
 - ポルノグラフィティ(9-12月)のコンサートツアー
 - 福山雅治のスタジアムライブ(8月)・年末ライブ(12月)
 - SEKAI NO OWARI スタジアムライブ(7月)
 - Perfumeのアニバーサリーライブ(9-10月)
 - BABYMETALのWORLD TOUR日本公演(6月、12月)
 - 3年目となった当社音楽アーティストが一堂に会した野外イベント
 - 「Amuse Fes 2015 BBQ in つま恋」(7月)
- <舞台・公演>
 - TEAM NACS第15回公演「悪童」(7-9月)
 - 熱海五郎一座「プリティウーマンの勝手にボディガード」(6月)
- ・ 商品売上収入: コンサートグッズ、福山雅治(アルバム・シングルCD、ライブDVD)
- ONE OK ROCK(ライブDVD)
- ・ 印税収入(新譜): サザンオールスターズ(アルバムCD)、Perfume(ライブDVD)、
- BABYMETAL(ライブDVD)
- ・ 出演収入・CM収入: 福山雅治、大泉洋、吉高由里子、Perfume、深津絵里、佐藤健、上野樹里など

<営業収入>

- ・ イベント収入(大型コンサートの実施)が増加
 - (前年同四半期は福山雅治(4-6月、11-12月)、Perfume(8-9月)、flumpool(4-8月)のコンサートツアー、熱海五郎一座(6月)、黒執事(9月)などの舞台を実施)
- ・ 商品売上収入(コンサートグッズ、音楽パッケージ)が増加
 - (前年同四半期はコンサートグッズ、福山雅治ツアーDVD、flumpoolアルバムCDなど)
- ・ 印税収入(新譜)が増加
 - 上記要因などにより増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により大幅な増益となりました。

[メディアビジュアル事業]

営業収入19億1千3百万円(前年同四半期比52.4%減)、セグメント利益1億4千万円(前年同四半期比49.0%減)となり、減収減益となりました。

[主な事業]

- ・ 映像作品販売収入:「美女と野獣」などのDVD販売収入
- ・ 映像製作収入:佐藤健主演映画「るろうに剣心 京都大火編/伝説の最期編」劇場配給、DVD販売分配収入
三浦春馬主演映画「進撃の巨人 前編/後編」、佐藤健・神木隆之介主演映画「バクマン。」、「美女と野獣」劇場配給分配収入など

<営業収入>

- ・ 大型作品の減少
(前年同四半期は「永遠の0」(7月)、「そして父になる」(4月)、「るろうに剣心 京都大火編」(12月)、「カノジョは嘘を愛しすぎてる」(6月)などを販売)
上記要因などにより減収となりました。

<セグメント利益>

減収要因により減益となりました。

[コンテンツ事業]

営業収入18億1千3百万円(前年同四半期比0.2%減)、セグメント利益7億5百万円(前年同四半期比12.9%増)となり、減収増益となりました。

[主な事業]

- ・ サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ポルノグラフィティ、Perfume、ONE OK ROCKなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用

<営業収入>

著作権印税の減少により若干の減収となりました。

<セグメント利益>

原盤印税の増加などにより増益となりました。

[プレイスマネージメント事業]

営業収入21億5千7百万円(前年同四半期に比べ、20億6千5百万円の増収)、セグメント損失2億4千4百万円(前年同四半期は2百万円のセグメント利益)となり、増収減益となりました。

[主な事業]

- ・ 東京ワンピースタワー、アミューズミュージアムの入場料収入、グッズ販売収入
- ・ ベルギービール等の飲食店収入

<営業収入>

東京ワンピースタワーの入場料収入、グッズ販売収入により増収となりました。

<セグメント利益又は損失>

東京ワンピースタワーの入場料収入が低調であったため減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明
(連結財政状態)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)	増減
総資産 (百万円)	29,572	36,272	6,699
純資産 (百万円)	21,174	24,848	3,673
自己資本比率 (%)	65.0	63.0	△2.0
1株当たり純資産 (円)	2,228.65	2,649.27	420.62

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は362億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ66億9千9百万円増加いたしました。主な増加要因としては、流動資産「現金及び預金」及び流動資産「受取手形及び営業未収入金」の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は114億2千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億2千6百万円増加いたしました。主な要因としては、流動負債「営業未払金」及び流動負債「未払法人税等」の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は248億4千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億7千3百万円増加いたしました。主な増加要因としては、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上などによるものであります。この結果、自己資本比率は63.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期の業績は概ね予定通り推移しており、平成27年10月30日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありませんが、平成27年5月14日に公表いたしました平成28年3月期期末配当金(予想)を変更しております。詳しくは、本日付(平成28年2月12日)で同時に公表いたしました「期末配当予想の修正及び株式分割並びに株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」をご参照ください。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第3四半期連結累計期間において、Amuse Korea Inc.及びブラッセルズ(株)の2社は重要性が増したため、CROONER PTE. LTD.は新たに株式を取得したため、(株)希船工房、A-Live Entertainment Pte., Ltd.及びAMUSE FRANCE S.A.S.の3社は新規設立したため連結の範囲に含めております。

また、連結子会社でありました(株)エアーズは清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

企業結合に関する会計基準等の適用

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,356,438	16,948,521
受取手形及び営業未収入金	4,406,438	5,319,276
商品及び製品	1,075,197	1,559,988
仕掛品	1,202,381	1,339,160
貯蔵品	47,147	70,184
その他	2,133,432	1,453,246
貸倒引当金	△118,190	△197,754
流動資産合計	21,102,845	26,492,623
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,212,329	1,977,766
土地	1,606,621	1,485,494
その他(純額)	983,136	923,302
有形固定資産合計	4,802,087	4,386,562
無形固定資産		
のれん	—	299,477
その他	210,916	185,021
無形固定資産合計	210,916	484,498
投資その他の資産		
投資有価証券	1,236,264	1,406,002
その他	2,052,518	3,361,200
貸倒引当金	△3,809	△3,892
投資その他の資産合計	3,284,973	4,763,310
固定資産合計	8,297,977	9,634,372
繰延資産		
開業費	172,034	145,791
繰延資産合計	172,034	145,791
資産合計	29,572,857	36,272,787

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	5,258,027	6,888,815
未払法人税等	249,561	2,144,448
役員賞与引当金	31,000	—
返品調整引当金	14,900	5,200
ポイント引当金	489	19,802
その他	1,871,533	1,338,274
流動負債合計	7,425,511	10,396,541
固定負債		
役員退職慰労引当金	16,308	16,308
退職給付に係る負債	915,437	965,014
その他	40,775	46,887
固定負債合計	972,521	1,028,211
負債合計	8,398,033	11,424,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587,825	1,587,825
資本剰余金	1,694,950	1,694,950
利益剰余金	16,820,538	20,442,145
自己株式	△929,731	△933,856
株主資本合計	19,173,582	22,791,064
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,787	33,449
為替換算調整勘定	21,240	40,051
その他の包括利益累計額合計	63,027	73,501
非支配株主持分	1,938,214	1,983,468
純資産合計	21,174,824	24,848,035
負債純資産合計	29,572,857	36,272,787

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業収入	29,806,511	40,516,849
営業原価	23,626,706	31,088,060
営業総利益	6,179,805	9,428,788
返品調整引当金繰入額	11,700	—
返品調整引当金戻入額	—	9,700
差引営業総利益	6,168,105	9,438,488
販売費及び一般管理費	2,831,220	3,166,039
営業利益	3,336,884	6,272,449
営業外収益		
受取利息	5,877	4,715
受取配当金	15,239	6,354
為替差益	122,433	—
受取手数料	10,532	11,937
事業組合投資利益	30,652	—
持分法による投資利益	17,595	104,445
その他	6,234	17,160
営業外収益合計	208,565	144,612
営業外費用		
為替差損	—	56,652
事業組合投資損失	—	4,684
固定資産除却損	1,067	370
その他	246	269
営業外費用合計	1,314	61,977
経常利益	3,544,135	6,355,084
特別利益		
固定資産売却益	—	1,149
持分変動利益	—	5,123
特別利益合計	—	6,273
税金等調整前四半期純利益	3,544,135	6,361,357
法人税、住民税及び事業税	1,274,472	2,282,230
法人税等調整額	△43,282	△45,862
法人税等合計	1,231,190	2,236,368
四半期純利益	2,312,944	4,124,989
非支配株主に帰属する四半期純利益	85,046	46,516
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,227,898	4,078,473

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	2,312,944	4,124,989
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,272	△8,338
為替換算調整勘定	88,404	18,811
その他の包括利益合計	99,677	10,473
四半期包括利益	2,412,621	4,135,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,327,575	4,088,946
非支配株主に係る四半期包括利益	85,046	46,516

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	23,877,356	4,019,789	1,817,045	92,319	29,806,511	—	29,806,511
セグメント間の 内部営業収入 又は振替高	60,404	247,422	102,729	39,979	450,536	△450,536	—
計	23,937,761	4,267,212	1,919,774	132,299	30,257,048	△450,536	29,806,511
セグメント利益	3,057,575	275,952	624,689	2,415	3,960,633	△623,748	3,336,884

(注) 1. セグメント利益の調整額△623,748千円には、セグメント間取引消去6,193千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△629,941千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	34,631,494	1,913,512	1,813,974	2,157,866	40,516,849	—	40,516,849
セグメント間の 内部営業収入 又は振替高	57,728	138,695	135,418	44,504	376,346	△376,346	—
計	34,689,223	2,052,208	1,949,393	2,202,370	40,893,195	△376,346	40,516,849
セグメント利益 又は損失(△)	6,338,185	140,600	705,225	△244,664	6,939,347	△666,897	6,272,449

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△666,897千円には、セグメント間取引消去13,464千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△680,362千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度に新たな事業を開始したことにより、報告セグメントの区分について、従来の「アーティストマネージメント事業」「メディアビジュアル事業」「コンテンツ事業」の3区分より、新たに「プレイスマネージメント事業」を加え、4区分に変更いたしました。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は平成28年2月12日開催の取締役会において、以下のとおり株式分割を行うことを決議いたしました。

1. 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、今後の株式の流動性の向上と投資家層の拡大及び株主還元の更なる充実を図るとともに、株主の皆様をはじめ、ステークホルダーの皆様方の長年にわたるご支援に感謝の意を表することを目的とするものであります。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成28年3月31日(木曜日)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	9,311,760株
今回の分割により増加する株式数	9,311,760株
株式分割後の発行済株式数	18,623,520株
株式分割後の発行可能株式総数	74,494,080株

3. 株式分割の日程

基準日公告日	平成28年3月14日(月曜日)
分割基準日	平成28年3月31日(木曜日)
効力発生日	平成28年4月1日(金曜日)

4. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	129円04銭	236円27銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5. 資本金の額の変更

今回の分割に際して、当社の資本金の額の増加はありません。